

石破自民党大敗退!!!!!!



今こそ **11.3集会**
6000人の大デモで

日本帝国主義 を倒そう!

= 自民党政権・戦争翼賛国会

広島大学学生自治会

mail: hirodai86@yahoo.co.jp

blog: hirodai86.blogspot.com

Twitter: @hu_jichi

2024/10/31 発行

米日による中国への侵略戦争を阻止しよう！

Never allow US-Japanese War on China!



① まず第一に、27日の衆院選で石破自民党が大敗退し、自民党単独どころか自公合計でも過半数を割るという、政権交代に準ずる歴史的な惨敗になりました。帝国主義支配階級がこれまで通りの支配、これまで通りの政治を続けられなくなったということです。(1)これは当然です。軍拡への怒り、増税や物価高騰放置政策への怒り、そして戦争への怒り、ダメ押しに汚職への怒り、こうした労働者民衆の日帝・自民党政権への根底的な怒りの大きさのひとつの表れが、今回の自民大敗退です。(2)そしてこれは私たち労働者民衆にとって大チャンスです！労働者階級の暴力・内乱で政府を打倒し、戦争と私たちへの搾取でしか延命できない帝国主義を終わらせる革命を、今こそ11.3集会6000人の大反戦・反政府デモから始めましょう！

② 第二に、同時に確認しなければならないことは、今回逆に「躍進」した議会内野党のいずれにも、私たち労働者階級の生きる展望はすこしもないということです。民主党政権時代に辺野古推進や3.11後の即時原発再稼働方針、そして消費増税を行った野田を再び代表に据えた立民は、「日米同盟を基軸とした」外交やら国防やらを云々する帝国主義者党そのものです。日本「共産党」さえもが「自衛隊には反対しない」「日本の主権を守る」などと唱えるありさまで。感情的・抽象的に「戦争反対」を言う党派はあっても、日米軍事演習キーンソード(10/23～11/1)を暴露したりそれを「日米が中国に攻め込む侵略戦争の演習だ」と捉えて反対したりするものは全くいません。戦争に向けた総翼賛国会であるというほかありません。

なぜそうなるのか？議会内野党は、仮に社会主義を掲げていたり戦争に反対する労働者階級を傘下に引き入れていても、いまやそのすべてが米帝大没落と中国侵略戦争の決断という未曾有の情勢を前にし屈服し、帝国主義を打倒すること(警察と資本家に対する内戦をやること)から逃げ、それでお平和や労働者の幸福を実現できるように描く必要に迫られた結果、状況の認識さえもがねじ曲がってしまっているのです。実際にはキーンソードはいまも続いており、ウクライナやイスラエルへの戦争支援予算も続いています。米帝は日本の総選挙結果に対し「新政権は4/10首脳会談や7/28閣僚協議での決定事項を貫徹できるのか」という方向で懸念を表明する始末です。日米安保同盟粉碎、日本帝国主義打倒をまっすぐに訴える反戦闘争こそが労働者階級の生きる道です。

③ 第三に、私たち労働者階級の唯一の選択肢は11.3全国労働者総決起集会と大デモへの6000人結集です。首都東京で、「24年8.6広島」を引き継ぎ実力で闘う労働者・労働組合の大デモを登場させ、戦争政府を本当に機能停止に追い込む闘いをやりましょう！

11.3当日のみならず、すでに総選挙・キーンソード情勢と対決する「大行進」の反戦デモやパレスチナ連帯デモが全国で勝ち取られています。投票日27日には広島大学学生自治会も参加し広島市内で「反戦女性集会」とデモをやり抜きました(オモテ写真)。新たな広大生の決起・全国学生の決起は既に始まっています。〈11.3デモで石破を倒して中国侵略戦争を止める〉！この闘いにすべての広大生・労働者・市民が加わってくれることをお願いします。



8.6 暴処法弾圧第2回「公判前整理手続き」弾劾闘争 (10/30)



東京・横田基地抗議デモ (10/27)